

# 男の介護・女の介護



～住み慣れた場所で暮らすには？～



ある日突然、介護が始まった。戸惑いつつ、介護に向き合う日々。口に食べ物を運び、身体を拭き、手足をさすり、おむつを替える。そのうち、身体の方はどうにか介護することに向いてきたが、気持ちの方がなかなかついていかない。時には口を閉ざして食べてくれない。どうしよう！辛い！

男が、地域でようやく“介護”を語りだした。

もともと女は、それを黙ってやってきた。“家族だから…” 当然のことだから…”と。

終りの見えない介護は、昨日も、今日も、明日も続く。介護に至る気持ちの距離は男と女で、いや、人それぞれで違うかもしれない。だが、介護と向き合う暮らしに男も女も違いはない。

介護する人、される人、介護保険を使い、地域での支援も利用し、住み慣れた場所で暮らすことができるように、今、みんなで語り合いませんか。

2013年 **2**月**9**日(土) 13:30~16:00

13:35~

DVD 視聴「介護の原点を問う」 DVD『ザ・男性介護者』から

14:00~

シンポジウム「望ましい介護・介護保険・地域」

シンポジスト

西山 良孝さん (スマイルウエイ・男性介護者の家「ほっこり庵」 代表)

中務 公子さん (介護保険とよなか市民会議 事務局長)

渡辺 順子さん (居宅ケアマネジャー)

コーディネート： 高齢社会をよくする女性の会・大阪

15:30~

参加者との意見交流

ところ： ドーンセンター 5F セミナー室② (裏面地図参照)

参加費： 一般 500円 会員 300円

申込先： 高齢社会をよくする女性の会・大阪 事務局 (裏に申込用紙があります)



主催：高齢社会をよくする女性の会・大阪

